

第二十四回
随筆

東日本大震災八周年 合同追悼式を終えて

市長 明智忠直



平成23年3月11日東北地方太平洋沖で、マグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。その2時間半後には、この旭市にも想像の及ばない高さ7.6メートルの大津波が襲来し、海岸地帯に未曾有の大災害をもたらしました。そして16名の尊い命が犠牲になってしまいました。改めてご遺族や被災された方々に、心から哀悼の誠を捧げ、お見舞いを申し上げます。

あれから8年の歳月が過ぎました。毎年この時期になりますと、あの時の恐怖や被害の大きさ、このまちが復活できるのだろうか、心を痛めたことが思い起こされます。あの日は春とはいえ、非常に寒い夜でした。避難される方々が、指定した10か所の避難所に続々と集まりました。避難された方の不安な気持ちを少しでも解消するため、寒さ対策や明りの確保、夕食の準備などに市民、市役所職員が総出で対応をしました。さ

らに緊急時は、情報の共有が何より大事なことから、避難所にはできる限りテレビやラジオの備えもしました。

地域の避難状況を把握するため、全ての避難所を巡回いたしました。翌朝には海岸地帯の被害を確認するため、現場に向かいましたが、道路ががれきで通れない状況でありました。復旧を最優先に考え、協定に基づく旭市建設業災害対策協会の協力をいただきました。一週間でほぼ全面的に通れるようにしていただき、建設業界の皆さんには、改めて心から感謝をするところであります。

現在は市民をはじめ、国県市が一体となり、復興が進んでいます。あの日から8年が過ぎ、この教訓を後世に伝え、災害から市民を守ることが、行政最大の仕事であると考えております。そのためにも防災教育や訓練、資料館の内容などを、さらに充実させていきたいと思えます。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／18日(木)、30日(火・休)、毎週月曜日
岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「オーディションから逃げられない」

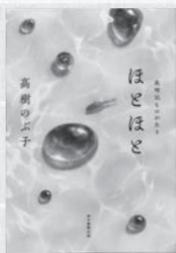
桂望実 著
(幻冬舎)



就職活動では内定が取れず、結婚すれば夫の会社が倒産。常に誰かと比べ「ついていない人」だった展子が気付いた幸せの形とは。

「ほとほと 歳時記ものがたり」

高樹のぶ子 著
(毎日新聞出版)



四季折々に描かれる、今は亡き人との交流。表題作ほか「春の闇」「月の舟」など、歳時記の季語にちなむ全24編の短編集です。

新着図書

- 1冊読み切る読書術 (齋藤孝)
- プラスチックの祈り (白石一文)
- 南極ではたらく (渡貫淳子)
- とまり木 (周防柳)
- 神は詳細に宿る (養老孟司)
- 居た場所 (高山羽根子)
- 社をもたない神々 (神崎宣武)
- まよなかの青空 (谷瑞恵)
- 終わっている臓器 (坂井建雄)
- あなたのためなら (田牧大和)
- 運命の絵 (中野京子)
- 残りものには、過去がある (中江有里)
- てのひらのえんぎもの (佐々木一澄)
- 神の島のこどもたち (中脇初枝)
- 季語をさかのぼる (小林祥次郎)
- 新章神様のカルテ (夏川真介)
- 発現 (阿部智里)
- 1 R 1分34秒 (町屋良平)
- 天命 (岩井三四二)
- 名もなき星の哀歌 (結城真一郎)
- 月虹の夜市 (折口真喜子)
- 逃げろ、手志朗 (吉森大祐)
- そして旅にいる (加藤千恵)
- 忘れるが勝ち! (外山滋比古)
- 駒音高く (佐川光晴)
- 湯けむり行脚 (池内紀)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／4月11日(木)、25日(木)
午後4時30分～5時
場所／市民会館